

## 介護支援専門員調査 調査項目(案)

## 1. 勤務等の状況についておたずねします

問1 あなたの性別は。

1. 男性
2. 女性

問2 あなたの年齢は。(平成28年10月1日現在)

1. 20歳代
2. 30歳代
3. 40歳代
4. 50歳代
5. 60歳以上

問3 あなたが介護支援専門員として働き始めてから何年ですか。(○は1つ)

1. 1年未満
2. 1年以上2年未満
3. 2年以上3年未満
4. 3年以上6年未満
5. 6年以上

問4 あなたが現在勤めている居宅介護支援事業所は、介護支援専門員として働き始めて何か所目の事業所ですか。(異動等による同一法人内での勤務地の変更を除きます)  
( )か所目

【問4で「2か所目」以上と答えた方にうかがいます】

問4 -1 現在、勤務している事業所に移った理由は何ですか。(○は1つ)

1. あなた又はあなたの家族の都合(転居、通勤の関係など)
2. 現在の事業所関係者からの誘い
3. 現在の事業所の勤務条件
4. 前の事業所の運営方針への不満
5. その他( )

問5 あなたが介護支援専門員以外に取得している資格などは何ですか。(○はいくつでも)

1. 医師
2. 歯科医師
3. 薬剤師
4. 保健師
5. 助産師
6. 看護師
7. 准看護師
8. 理学療法士
9. 作業療法士
10. 社会福祉士
11. 介護福祉士
12. 視能訓練士
13. 義肢装具士
14. 歯科衛生士
15. 言語聴覚士
16. あん摩マッサージ指圧師
17. はり師
18. きゅう師
19. 柔道整復師
20. 栄養士(管理栄養士を含む)
21. 精神保健福祉士
22. その他( )

問6 あなたの勤務形態は次のうちどれですか。(○は1つ)

1. 常勤・専従

2. 常勤・兼務
3. 非常勤・専従
4. 非常勤・兼務

【問6で「2.」か「4.」と答えた方にうかがいます】

問6 -1 どのような業務を兼務していますか。(○はいくつでも)

1. 管理・事務業務
2. 医療系サービス
3. 介護サービス
4. 相談業務
5. その他( )

【問6で「2.」か「4.」と答えた方にうかがいます】

問6 -2 一週間のうち、居宅介護支援に従事する時間は平均どれくらいですか。

平均〔                      〕時間

問7 あなたが所属している居宅介護支援事業所の法人種別などは何ですか。(○は1つ)

1. 社会福祉法人
2. 医療法人
3. 社団法人・財団法人
4. 営利法人・民間企業(株式会社、有限会社など)
5. 特定非営利活動法人(NPO法人)
6. 消費者生活協同組合
7. その他( )

問8 あなたが所属している居宅介護支援事業所には、あなたを含めて何人の介護支援専門員がいますか。

〔                      〕人

## 2. ケアマネジメントについておたずねします

【以下の設問(問9～問17)は平成28年10月の状況について答えてください】

問9 あなたが給付管理を行ったケース(利用者が10月にサービスを利用し、介護報酬の対象となったケース)は何件ですか。

〔                      〕件

問10 これまでに小規模多機能型居宅介護を計画に位置付けたことがありますか。(○は1つ)

1. ある ( )件
2. ない

【問10で「2.」と答えた方にうかがいます】

問10-1 これまで計画に位置付けていない理由をお答えください。

1. 利用が適切と思われる対象者が分からないため
2. 利用が適切と思われる対象者がいなかったため
3. 事業所が利用者の居住場所の近隣になかったため
4. 包括報酬であるため、利用者が希望しなかったため
5. 利用者の希望する利用形態と小規模多機能型居宅介護事業所が提供できるサービスが一致しなかったため
6. 居宅介護支援業務を小規模多機能型居宅介護事業所が行うことになるため
7. その他( )

問11 これまでに定期巡回・随時対応型訪問介護看護を計画に位置付けたことがありますか。

1. ある ( )件
2. ない

【問11で「2.」と答えた方にうかがいます】

問11-1 これまで計画に位置付けていない理由をお答えください。

1. 利用が適切と思われる対象者が分からないため
2. 利用が適切と思われる対象者がいなかったため
3. 事業所が利用者の居住場所の近隣になかったため
4. 包括報酬であるため、利用者が希望しなかったため
5. 利用者の希望する利用形態と定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所が提供できるサービスが一致しなかったため

6. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護の事業所の存在自体を知らなかったため
7. その他( )

問12 市の福祉サービス、ボランティアなどの保険外サービスを組み合わせて作成したケアプランはありますか。あればその件数も記入してください。(○は1つ)

1. ある( )件
2. ない

【問12で「1. 」と答えた方にうかがいます】

問12-1 そのサービスの種類は何ですか。該当するものの番号を○で囲み、またケースの件数も記入してください。(○はいくつでも)

各サービス毎に、利用件数を答えていただく表を付けます。

【問12-1で「8. 」と答えた方にうかがいます】

問12-2 ケアプランで組み合わせた保険外サービスの内容は何ですか。(○はいくつでも)

1. ごみ出し
2. 買い物
3. 外出の手助け(付添・介助・送迎など)
4. 掃除
5. 話し相手
6. 洗濯
7. 食事の準備・調理・後始末など
8. 草取り・庭木の剪定
9. 家の中の簡単な修理や電球交換など
10. その他( )

【問12で「1. 」と答えた方にうかがいます】

問12-3 現在不足しており、今後充実が必要と思うサービスは何ですか。(○はいくつでも)

1. 緊急通報システム
2. 声の訪問
3. おむつサービス
4. 寝具洗濯乾燥消毒サービス
5. 徘徊高齢者ネットワーク(登録制度、検索システム)
6. ふれあいサロン
7. ボランティア、NPO、企業などが行う保険外サービス
8. その他( )

【問12-3で「7. 」と答えた方にうかがいます】

問12-4 今後充実が必要な保険外サービスの具体的な内容は何ですか。(○は3つまで)

1. ごみ出し
2. 買い物
3. 外出の手助け(付添・介助・送迎など)
4. 掃除
5. 話し相手
6. 洗濯
7. 食事の準備・調理・後始末など
8. 草取り・庭木の剪定
9. 家の中の簡単な修理や電球交換など
10. その他( )

問13 介護サービス受給者の場合、こういった「見守り」サービスが必要だと思いませんか。(○はいく

1. 近隣住民の見守り
2. 緊急通報システム
3. 声の訪問
4. 民間の見守りサービス(警備会社、携帯電話等)
5. 民生委員による見守り
6. 不要

問14 どういった「見守り」サービスを今後充実させるといいと思いませんか。(○は2つまで)

1. 近隣住民の訪問による見守り(無料)

2. 近隣住民の外から様子を伺うさりげない見守り(無料)
3. 市の制度として訪問員が訪問する見守り(一部有料)
4. 電話やメールのやり取りを行う見守り(有料)
5. ゴミ収集や宅配など他のサービスを利用しての見守り(有料)
6. その他( )

問15 認知症の方の支援体制として、どのようなものが不足していると考えますか。(○は2つまで)

1. 認知症についての相談窓口
2. 認知症の治療が受けられる身近な医療機関(かかりつけ医)
3. 認知症治療や介護に関する情報が入手できる仕組み
4. 認知症の方が緊急時に入院や入所ができる病院・施設
5. 認知症の方を地域で見守るしくみや居場所
6. 認知症の方の家族に対する支援
7. その他( )

問16 在宅での生活が困難なケースはありますか。あればその件数も記入してください。(○は1つ)

1. ある( )件
2. ない

【問16で「1.」と答えた方にうかがいます】

問16-1 具体的にはどのようなケースですか。該当するものの番号を○で囲み、またケースの件数も記入してください。(○はいくつでも)

ケース種別毎に、ケースの件数を答えていただく表を付けます。

【問16で「1.」と答えた方にうかがいます】

問16-2 在宅生活困難者向けにどのようなサービスが必要ですか。ご自由にお書きください。

問17 処遇困難な事例はありますか。あればその件数も記入してください。(○は1つ)

1. ある( )件
2. ない

【以下の設問(問18～問34)は平成27年4月以降の状況についてお答えください】

問18 ケアマネジャーとして居宅サービス計画を作成するに当たり、全体的に利用しにくいサービス・必ずしも必要ではないが計画に組み込んでいるサービス(過剰サービス)・不足していると思うサービスについて、該当するものに○をつけてください。また、その理由について下記の選択肢から選び、該当するサービス欄に番号を記入してください。(○はいくつでも)

サービス毎に、利用しにくい理由等を答えていただく表を付けます。

問19 サービス提供事業所に関する情報収集や連絡・調整はどのようにしていますか。(○はいくつ

1. サービス提供事業所のパンフレット等の収集
2. サービス提供事業所のホームページの閲覧
3. 地域単位の事業者情報誌等を閲覧
4. 市のホームページを閲覧
5. 介護サービス情報公表システムを閲覧
6. 事業者協議会に参加
7. 区の居宅介護支援専門員の連絡会等に参加
8. 電話・面談等で直接、事業所に問い合わせ
9. その他( )
10. 特に行っていない

問20 居宅サービス計画の作成に当たり、医療機関等からの情報収集などはどのようにしていますか。(○はいくつでも)

1. 主治医意見書を区役所から入手
2. 主治医連絡表等を利用して問い合わせ
3. 主治医へ電話・面談等で直接問い合わせ
4. その他( )

5. 特に行っていない

問21 自立につながる支援が出来たと思うケアプランを、これまでにどの程度作成できたと考えますか。(○は1つ)

1. 1割以下
2. 1～3割程度
3. 3～5割程度
4. 5～7割程度
5. 7～9割程度
6. 9割以上

問22 居宅サービス計画を作成する上で、分からないことや困ったことがあったとき、誰に相談していますか。(○はいくつでも)

1. 同一法人のケアマネジャー
2. 他法人のケアマネジャー
3. 区の居宅介護支援専門員の連絡会等
4. いきいきセンターふくおか(地域包括支援センター)
5. 区役所
6. 福岡市保健福祉局
7. 福岡県保健医療介護部
8. 国民健康保険団体連合会
9. その他( )
10. 相談できる相手がいない

問23 どのようなことを相談していますか。(○はいくつでも)

1. 多方面の問題を抱えている事例への対応に関する事
2. 利用者・家族間の意見調整に関する事
3. サービスの適否判断
4. 3以外のケアマネジャー業務に関する事
5. 介護保険外のサービス利用に関する事
6. 介護報酬請求事務に関する事
7. その他( )
8. 特に相談することはない

問24 居宅サービス計画を作成する際に、何を重視してサービスを組み立てていますか。下記から上位3つを選択し、番号を記入してください。

1. 自立支援の視点
2. 本人の希望
3. 課題分析の結果
4. 家族の希望
5. 主治医の意見
6. 事業所の意向
7. その他( )

問25 あなたは利用者に対して、どんな基準を重視してサービス事業所を紹介していますか。(○は2つまで)

1. 利用者の自宅から近いかどうか
2. 利用者・家族が望むサービス内容・プログラムであるかどうか
3. 介護支援専門員の目から見て、サービスの質が高い事業所であるかどうか
4. 自分が勤務している居宅介護支援事業所の併設事業所であるかどうか
5. 利用者・家族が知っている又は希望する事業所であるかどうか
6. その他( )

### 3. 他機関との連携についておたずねします

問26 主治医との連絡・報告を行っていますか。(○はいくつでも)

1. 居宅サービス計画の新規作成及び変更時に行っている
2. 利用者の病気など緊急時に行っている
3. 上記の1・2以外に定期的に行っている
4. 行っていないことが多い

【問26で「1. ～3. 」と答えた方にうかがいます】

問26-1 主治医との連携で、苦慮していることはありますか。(○はいくつでも)

1. 連絡する時間帯の判断に迷う
2. 連絡方法(電話, メール, 面談等)の判断に迷う
3. 知識不足のため、主治医の説明を理解できないことがある
4. その他( )
5. 苦慮していることはない

【問26で「4. 」と答えた方にうかがいます】

問26-2 主治医に連絡・報告を行っていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 連絡する時間がない
2. 主治医に時間をとってもらえない
3. 医師とコミュニケーションを図ることに自信が持てない
4. その他( )
5. 必要がない

問27 主治医・サービス事業所以外に利用者に関して日頃、連絡を取っている人はいますか。(○はいくつでも)

1. いきいきセンターふくおか(地域包括支援センター)
2. 校区の保健師
3. 訪問看護を行っている看護師
4. 医療機関のMSW
5. 医療機関の退院調整看護師
6. 訪問薬剤師
7. 訪問歯科医師・歯科衛生士
8. 民生委員・児童委員
9. 社会福祉協議会
10. 自治協議会など地域コミュニティ
11. その他( )
12. いない

問28 いきいきセンターふくおか(地域包括支援センター)・区役所等と連携するときにはどのような場合ですか。(○はいくつでも)

1. 多方面の問題を抱えている事例への対応
2. 苦情相談への対応
3. 介護保険以外のサービスや制度の利用
4. その他( )
5. 特に連携していない

問29 個別や圏域での地域ケア会議に参加したことはありますか。(○は1つ)

1. ある
2. ない

【問29で「1. 」と答えた方にうかがいます】

問29-1 参加後、業務の円滑化に役立ちましたか。(○は1つ)

1. 専門職間の連携が進んだ
2. 医療機関との連携が進んだ
3. 利用者の納得を得やすくなった
4. 利用者の状況に合うケアプランを作成できるようになった
5. わからない
6. 特に役に立たなかった

#### 4. 処遇困難事例などへの対応についておたずねします

問30 あなたは処遇困難事例について主にどのように対応してきましたか。(○はいくつでも)

1. 事業所内の上司や同僚に相談した(している)
2. 他の事業所のケアマネジャーに相談した(している)
3. いきいきセンターふくおか(地域包括支援センター)に相談した(している)
4. 行政機関(県庁・市役所・区役所等)に相談した(している)
5. 区の居宅介護支援専門員の連絡会等で相談した(している)
6. 誰にも相談せず、自分で対応した(している)
7. その他( )

問31 処遇困難事例への対応についてどのように思いますか。ご自由にお書きください。

問32 高齢者虐待と思われる事例はありますか。あればその件数も記入してください。(○は1つ)

1. ある( )件
2. ない

【問32で「1.」と答えた方にうかがいます】

問32-1 その事例はどのような事例ですか。。該当するものの番号を○で囲み、また事例の件数も記入してください。(○はいくつでも)

事例種別毎に、事例の件数を答えていただく表を付けます。

【問32で「1.」と答えた方にうかがいます】

問32-2 あなたは高齢者虐待事例について主にどのように対応してきましたか。(○はいくつでも)

1. 市(区)の高齢者虐待対応窓口に通報, 又は相談した(している)
2. 市(区)などには相談せず自分たちで対応した(している)
3. いきいきセンターふくおか(地域包括支援センター)に相談した(している)
4. その他( )

### 5. 資質向上の取り組みについておたずねします

問33 自分のケアマネジャー業務のレベルアップのために、どのような取り組みを行っていますか。(○はいくつでも)

1. 自主的な勉強会を行っている
2. 事業者協議会に参加している
3. 区の居宅介護支援専門員の連絡会等に参加している
4. いきいきセンターふくおか(地域包括支援センター)と連携を図っている
5. 法人内の研修に参加している
6. 外部の研修に参加している
7. その他( )

問34 ケアマネジャー業務のレベルアップのために、現在行っていないが今後行ってみたいと思っている取り組みはありますか。(○はいくつでも)

1. 自主的な勉強会
2. 事業者協議会に参加
3. 区の居宅介護支援専門員の連絡会等に参加
4. いきいきセンターふくおか(地域包括支援センター)との連携
5. 法人内の研修に参加
6. 外部の研修に参加
7. その他( )

問35 ケアマネジメントにおいて、現在困っていることや、どこに相談したらよいか分からないことなどを自由に記載してください。

### 6. 行政の役割についておたずねします

問36 今後、行政に期待する役割は何ですか。(○はいくつでも)

1. 相談機能の充実
2. 研修機能の充実
3. サービス基盤の整備
4. 情報提供の充実
5. その他( )

【問36で「3.」と答えた方にうかがいます】

問36-1 サービス事業所が不足しているため、またはサービス事業所が提供するサービス量が不足しているため、現在あなたが担当しているケース(利用者)で、不足していると思うサービスは何ですか。ケース毎に要介護度と不足していると思うサービスを下記の選択肢から選び、該当する番号を記入してください。また、その不足している量も記入してください。

サービス毎に、不足しているサービス量等を答えていただく表を付けます。